

平成30年度 第5回 与那原町庁舎建設検討委員会 会議録

- 開催日時 :平成30年12月3日(月)午後2時から4時
- 開催場所 :与那原町役場2階委員会室
- 出席者 :委員15名(欠席者2名) 事務局3名 受注者4名
- 次第 : 1. 開会
 - 2. 委員長あいさつ
 - 3. 議事
 - 答申内容の検討及び決定について 【資料1】、【資料2】
 - 4. 報告
 - 駐車場案について 【資料3】
 - 5. その他
 - 6. 閉会

■会議録

事務局:皆さんこんにちは。定刻2時を回りましたので、これより第5回目の庁舎建設検討委員会を開催してきたいと思います。徳村委員と喜屋武委員は欠席とのご連絡が入っておりますので申し伝えます。委員会規則によりまして、過半数の出席がありますので、本会が成立していることを報告いたします。それでは、会次第に沿って、委員長のごあいさつをお願いします。

委員長:皆さま改めましてこんにちは。今日で5回目になります与那原町庁舎の建設検討委員会、今日は前回までに町長から答申でありました町民が利用する共有スペースについて、それから町民ホールについて、そして最後にバリアフリーについて、これらの大方の信任を得ておりますので、これらの答申内容を今日報告させて頂いて、足りないものがありましたら検討頂きたいと思えます。これが今日の重要な議事でございます。それと、委員の皆さんから提案がありました駐車場についても宿題の回答を準備されているようですので、それについては案をご報告するという形にしたいと思えます。宜しくお願ひ致します。その他の質問があればお聞きするというような形にしたいと思えます。しかし、今日の重要な議案は答申案の最終的な確認でございますのでどうぞ宜しくお願ひ致します。それでは議事をお願ひ致します。

事務局:これより答申案の内容を事務局の方で読み上げながら、説明しますので、確認を宜しくお願ひ致します。

事務局:資料1をご確認ください。諮問をもう一度少し確認をしまして、それから答申案に入っていきますので宜しくお願ひ致します。

(資料1、2にて説明)

委員長:いかがでしょうか。

委員:答申2の町民ホールの座席は可動式の椅子で入っていますか。それとも手で並べる椅子を考えているのですか。

事務局:可動式の椅子を検討しています。

委員:簡単に座席数と記載しているから今までと同じ並べるタイプかなと思った。

委員長:そしたら、提案の可動式と分かるような書き方にした方が良いですね。

事務局:はい。答申案をそのように修正します。

委員:答申2の“一体的な綱がり”の「綱」は意図的にですか？これは糸をより合わせるという意味合いですよね。この使い方はどうなのでしょうね。

委員長:先ほど事務局と話したんですが、与那原町なので与那原町は綱曳きだと。綱という字を採用したと説明を受けました。

委員:そういうのが共有出来れば良いと思うんですが。どうなんだろうと。答申は公文であり、ホームページにも公表されるのであれば、やはりわかりやすい表記がいいのでは。

事務局:すいません。通常の使い方(繫)に直します。

委員:ホームページにも答申は載るんですか。

事務局:はい。掲載されます。。

委員長:では通常に修正するように。

事務局:はい。

委員長:それに関連してですね、町民が利用する共有スペースの最初の行の所ですね、“協同連携し、みらいへ”の「みらい」も実は最初の答申の時は漢字を使用していたんですが、わざと平仮名にしてるんですけどもこれはいかがでしょうか、漢字に直したほうがいいですかね。

委員:良いと思いますよ、出来るだけ漢字はあまり多用しないほうがいい。そのほうが優しい感じで良いんじゃないですかね。

委員長:分かりました。他にございませんでしょうか。

委員:諮問答申の書き方はこれで良いと思いますけども、当然諮問の中には3つの項目の諮問があると思いますが、この4番目にその他があるが今まで3回・・・5回やっていますよね。何か委員会で要請したっていうのは無かったですよね。この3つの項目以外で何かなかったですかね、無かったらなかったでいいんですが。

委員長:3つの項目から決めたに内容について、審議を重点的にやってきました。その他はないですね。

委員:分かりました。

委員長:他にございませんでしょうか。無いようでしたら伊禮委員からありました、座席をもう少し詳しく書いて頂く事と、それから誰が見ても分かるように「綱がり」を「繫がり」へ直したいと思います。「みらい」のほうはそのままやさしい平仮名使いと言う形にしたいと思います。その他、私たちの方でもう一度読み直しまして誤字・脱字等がありましたら修正させていただきます。それでは今日の議題の重要な事であり答申内容の検討及び決定につきましてはこのような形で町長へ答申するという事で宜しいでしょうか。

委員:はい。

委員長:ありがとうございます。それでは提案でありました、駐車場についての報告を事務局より説明をお願いします。

事務局:資料3にて説明。(省略)

委員長:ありがとうございます。いかがでしょうか。B案ですね、確かにアプローチもいいんですけども、

3億余りの費用が掛かり、工期も2.5ヵ月かかるということで完全に間に合いませんね。ピロティー案でも同じく2億7千万くらいですかね。一台当たり1千万近く掛かるという事になりますね。

委員: 予算と工期の問題があるね。

委員: 25台程度しか変わらないとなると、そこまでお金を掛ける必要はないように思う。

委員: 3億掛かるという事はどういう設計の仕方をしているか分かりませんが、必ずしも地下とかピロティーとか言っておりますが、地下じゃなくてもピロティーでできるんだったら別に嵩上げしなくても、そっちを取ればそれでピロティーになるわけですから。柱がそれだけ掛かるわけ。例えば、今職員が使っている駐車場は将来どうなるか分からないわけです。皆さんそれも固定した位置づけで上の森公園の駐車場も使う。それから、今使っている職員駐車場も半永久的に庁舎と利用者が使うと。北側の開発も議会では取り上げられているんですが、固定した形で皆さんそこをずっと駐車場として位置付けられるんだったら良いんですが、そうじゃなければやはり、少々予算が掛かるからと言って今の3ヵ所の駐車場だけを今のこの場でちゃんと位置付けられるか。

事務局: 今現在、職員駐車場に仮設プレハブを設置して活用を図りながら、庁舎が建設された後には、駐車場として利用したいと考えております。

委員: 要するに買うのかどうか。買ってずっと駐車場として位置付ける事を前提にやっていくのか。

事務局: 実際、公社のほうで先行取得という事で資金を活用して検討しています。現在の職員駐車場のほうも購入計画を考えております。委員からありました地下駐車場の件ですね、実際に検討した結果、金額と台数が予想を大きく上回った形ででてきたものですから。先ほどの職員駐車場の場所については、今後状況を見ながら立体駐車場にするとか、そうすると台数も確保できますので。

委員: 立体駐車場も億のお金掛かると言うんですよ。北側の所と上の森公園を使う予定になってますが、向こうと競合するわけ。新たに今の福祉センターが何らかの形でもし仮に利用される事になった場合、対面的な土地との相乗効果という形でどういう形で活用するのか、そのへんを考えておかないと後で後悔して、立体駐車場を造る事になるとさらにお金が掛かりますよ。

委員: 1台あたり1千万掛かるなら土地を購入したほうが良いんじゃないかっていう話ですよ。そういう土地が周りにあるのかという検討をしたほうが良いと思いますし、今の職員駐車場に鉄骨で立体駐車場を造った方が、地下駐車場を造るよりはずっと安くなると思います。土地を購入するという前提であればそこに立体駐車場にしたほうがコストが3億まで掛からないと思います。建てるよりは土地を買った方が安いと思います。そういう土地があるかは分かりませんが、仰ってるように借りたままだとどうなるかわかりませんので。

委員: この計算の仕方では総数的に25台しか増えない。でも、地下駐車場だと28台くらいで計算してるんだけど、実際は総数的には25台程度しか増えないでしょ、25台で計算したらもっとコストが出てくるという事だからこの計算の仕方は乱暴だと思う。車1台にこの計算の仕方だと1千5百万くらいになるから、とんでもない話だと思う。車1台のために家一軒建てるくらいの計算になるわけですから、乱暴だなと思います。

委員: ピロティー方式で土地をとって柱だけを残して見晴らしの良い駐車場にするとかは考えられな

いか。

事務局:そういう検討でやっています。設計事務所の方に概算を出して頂いてやっておりますが、やっぱりそれぐらい掛かるという形ですね。事務局としましてはとてもいいご提案で隣の土地とフラットになって連動性もとれるんですが、建設費が高騰している時期でありますので費用がかなり掛かる。もし予算を作れるのであれば職員駐車場を購入したりとか、役場の南側の土地の周辺の単価と割り当てもこちらのほうが安く済みます。駐車場不足という懸念は持ちつつ、常に備えていこうという形で検討しています。第3回目ぐらいの時に、将来計画道路がきますと、この位置は全然ずれるんですがどうしても余剰地的なものが発生するはずなんですね。そういった所の活用も今後課題として事務局としてもずっと持たないといけないかなと考えておりますので、駐車場の問題は常に意識をしながら運営を今後の活用を図っていく必要があるかなと思っております。

委員長:よろしいでしょうか。それでは駐車場の方は今後も色々考えていかななくてはならないと思うんですが、とりあえずA案で宜しいでしょうか。

委員:はい。

委員長:ありがとうございます。その他何か皆さんのほうから質問はございますでしょうか。

委員:答申の内容とは別だったので気にしなかったが、これからの庁舎建築はランニングコスト、光熱費等をどう下げていくかが、これからの庁舎建築の一番大切な所なので、そういうところも答申内容と同じくらい検討されて、どうやったらコストを短縮できるのか。ゼロエネルギービルなどを出来る形で検討することも大事だと思いますので、是非ご検討頂ければと思います。

委員長:有益なご意見ありがとうございます。他にございますでしょうか。

委員:現庁舎というのは栗国町長の時に造られたと思うんですが、その際は何人かの方が亡くなったり怪我したりしりと聞いていたが、工事の際は万全に安全管理をお願いしたい。

事務局:はい。工事については安全に期していきたいと思います。

委員長:他にございませんでしょうか。他になければ、第5回与那原町庁舎建設検討委員会を終了します。どうもありがとうございました。